

志賀原子力発電所2号機 低圧タービンの点検状況について（続報）

平成18年7月25日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所2号機（改良型沸騰水型、定格電気出力135万8千キロワット）の低圧タービンの点検を実施しておりますが、これまでに、低圧タービン（A）、（B）および（C）ロータの第12段の羽根840枚の内、（A）、（B）の560枚について、外観目視点検および磁粉探傷試験^{*1}が終了いたしました。

その結果、146枚の羽根根元取付け部（フォーク）にひびを確認いたしましたので、お知らせいたします。

なお、今後も引き続き、点検を実施してまいります。

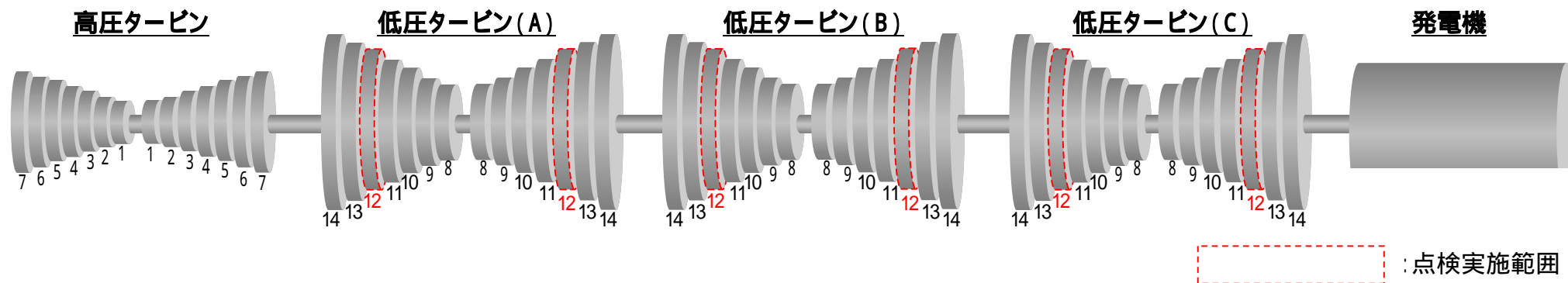
以 上

添付資料 低圧タービンの点検状況

*1 磁粉探傷試験：検査対象物を磁化させて磁粉をかけて、磁粉模様により欠陥を探す試験

低圧タービンの点検状況

添付資料



外観目視点検および磁粉探傷試験の結果、ひびが確認された羽根の数

平成18年7月24日までの状況

	低圧タービン (A)		低圧タービン (B)		低圧タービン (C)		合 計
	高圧タービン側	発電機側	高圧タービン側	発電機側	高圧タービン側	発電機側	
外観目視点検結果	0 / 140	0 / 140	0 / 140	0 / 140	0 / 0	0 / 0	0 / 560
磁粉探傷試験結果	46 / 140	29 / 140	50 / 140	21 / 140	0 / 0	0 / 0	146 / 560

(注) 分母は点検が終了した羽根枚数、分子はひびが確認された羽根枚数を示す。

低圧タービン第12段の羽根の枚数は、140枚 × 6組^{*1} = 840枚

*1 低圧タービン3基の高圧タービン側と発電機側で計6組